

## 出版情報

書名・件名	厚生白書(昭和56年版)
副書名	国際障害者年「完全参加と平等」をめざして
編集者・監修者	厚生省

## 昭和55年度厚生行政年次報告書の発表に際して

厚生省では、昭和31年以来厚生白書により、過去1年間を中心とする厚生行政の歩みを広く国民各層の方々にお知らせし、御理解を頂いてまいりましたが、本年も25回目に当たる厚生白書の発表を行うはこびとなりました。

本年は、障害者の「完全参加と平等」という目標を掲げて各国が行動を行う「国際障害者年」であります。このため、総論では障害者の問題を取り上げ、障害者福祉の理念、障害者及び障害者対策の現状を紹介し、障害者対策の基本的な方向を示唆しています。

今後とも、政府全体としてこの問題に積極的に取り組むとともに、厚生省としても、その推進役として一層の努力をしてまいり所存であります。

また、「完全参加と平等」は、行政施策面の対応のみで達成されるものではなく、国民の皆様の真の理解と協力が何よりも必要であります。障害者を含む国民の皆様が、この問題について認識を深めていただく上で、本白書が役立つことを期待しております。

今日、厚生行政を取り巻く諸環境は厳しいものがありますが、老人、障害者など真に福祉を必要とするの方々に対して施策を充実するとともに、長期的な展望に立って、社会保障制度の効率化を進め、活力ある福祉社会の実現をめざしたいと考えております。

私どもは、厚生行政への皆様の御期待にこたえ得るよう今後とも努力を重ねてまいり所存ではありますが、皆様におかれましても厚生行政に対し、なお一層の御支援、御協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

昭和56年11月 村山 達雄 厚生大臣